



静岡県男女共同参画センター・あざれあ情報誌

epooca

地元のハンサムウーマン
～地域力を高める女性たち～

おおつか さ え み
大塚 佐枝美 さん
(静岡女性史研究会 代表/静岡市)

静岡で生きた女性たちの足跡をたどって

「この世界の片隅に」という映画がヒットした。「静岡女性史研究会」が発行している「しずおかの女たち」を読むと、静岡で戦中・戦後を生きた女性たちの人生を知る事ができる。内容は全て、会員が一人ひとりに話を聞き、書きまとめたものだ。会の代表でもあり、令和4年度男女共同参画社会づくりに関する知事褒賞を受賞した大塚佐枝美さんに話を伺った。



戦中から戦後へ、変わる女性の生き方

1942年生まれ。取材を通して大塚さんの人生は歴史そのものだと感じた。愛媛県出身の大塚さんは教師だった父の勧めで関西の大学に進学。大学に家政科の修士課程ができた年の第一期生として卒業後、四国に戻り、各地に設立され始めたばかりの短大で講師・助教授に就いた。「当時は女子も短大くらい出ておかなくちゃという雰囲気でした。でもその内容は『主婦養成の場』。男は外で働いて女は家で家事育児が当たり前の時代でしたから」

定員 60 人に対して 180 人が入学。授業数は 3 倍になり大変だったと言います。「結婚後、夫は静岡、私は四国で 2 年ほど別居していました。その後仕事を辞め、夫のいる静岡に来て子育てをしていましたが、子育てだけでは物足りなくて、水泳教室や文章教室、PTA などの活動を始めました」

(次ページへ続く)

静岡県男女共同参画センター・あざれあ

〒422-8063 静岡市駿河区馬淵 1-17-1

TEL : 054-250-8147 FAX : 054-251-5085 e-mail : info@azarea-navi.jp

URL : <https://www.azarea-navi.jp/>

編集・発行 : あざれあ交流会議グループ

1996年、静岡県立静岡南高等学校の非常勤講師として再就職し、これまで女子だけが必修だった家庭科を男子にも教える「男女共修家庭科」を担当。さらに「城内カウンセリング研究会」を立ち上げ、不登校の子を持つ母親などの悩み相談や講座開催を始めたという大塚さん。NPO法人あざれあ交流会議では理事を務め、広報誌の編集や講座企画・運営などに携わる傍ら、「大学女性協会」「静岡女性史研究会」にも所属し活動の幅を広げていった。

女性史にかける想い

「女性の人生の方が面白い」と話す大塚さんが、特に興味を持って取材に取り組んできたのが戦争未亡人、大陸からの引揚者だと言う。「引揚者は短大で教鞭を執っていた時に同僚であった2人がとても魅力的でした。

そして未亡人は戦中教育の中で『女は未亡人になった時のために手に職をつけろ』と教えられてきたから」

そんな大塚さんは「やっぱり女性は経済力を持たないといけない」と強く言う。「私は仕事を持って収入があったから好きなことができた。そうでなかったら何をするにも夫にお伺いを立てなくてはならなかっただろう」と。

自分の子どもには戦争体験を話していないと言う大塚さんだが「自分の一生を書き残しておかない」という思いもあるという。「教科書で学ぶ歴史は統治者に都合のいいように書かれたもの。一般の人が当時感じていた歴史とは違うかもしれない」

大塚さんは女性たちの個人史を聞き書きすることで、「少しでも世の中を変えられれば」と話す。時代は違えども彼女たちの人生は、戦争を知らない現代の若者にも共感できる部分が多い。「今後は国境を越えた女たち（日本に來ている外国人）の話を聞き書きしてみたい」

若者にも静岡の女性史を知ってほしいと8集まではWAN*のミニコミ図書館に電子化されている。現在は11集にむけて、夫婦別姓を特集にして調査に取り組んでいる。「短大で教師だった時代より今の方が楽しい」と語る大塚さんの女性史の研究は続く。

*WAN(ウィメンズ アクション ネットワーク)サイト掲載ページURL

<https://wan.or.jp/dwan/dantai/detail/73?title=90&page=1#gsc.tab=0>



令和4年度男女共同参画社会づくりに関する知事褒賞
男女共同参画推進の部(個人)を受賞

ブックサポーター 53

地域女性史を紡ぐ

あざれあ図書室では「しずおかの女たち」シリーズを取り揃えております!

「しずおかの女たち 第10集」

(静岡女性史研究会 羽衣出版 2019年)



1979年の第1集発行から40年、第10集の特集「私たちの現在を問う」では、筆者達が聞き書きを通じて自分自身の問いにも向き合います。女性たちが歩いてきたそれぞれの道に、時間を忘れて読みふけてしまいます。

「地域女性史への道」

(折井美耶子 ドメス出版 2021年)



地域女性史の真骨頂は、名を遺した女性だけではなく、歴史の表舞台に現れない市井の祖母や母たちの歩みを残すこと。地域女性史研究の記録や貴重な資料の保存など、地域女性史の現状や課題をまとめた1冊です。



あざれあ図書室 利用案内

貸出：図書10冊、ビデオ・DVD4本(3週間)
開室時間：月～金 9:00～18:00 土日祝 9:00～17:00
休室日：第1・3・5日曜日、図書整理日
TEL：054-255-8763 FAX：054-255-8759



思春期の性の悩みに寄り添う

発足から今年で 24 年目を迎える「特定非営利活動法人リプロダクティブヘルス研究会」。立ち上げ当初は助産師が中心だったが、現在は一般の会社員も含め 30 人ほどで活動している。沼津市に設置されたの思春期健康相談室「ピアーズ ポケット」（設置：静岡県）を拠点に思春期健康相談を行っている他、県内の学校へ講座に出向くなど活動地域は広い。

どんな相談が多いのか？ 理事長の宇田公美子さんをはじめ、理事のみなさんに聞いた。

「今は年間 3,000 件以上の相談があります。そのほとんどが男子。包茎とペニス、マスターベーションのやり方ってというのが全国的に共通していると思います」相談件数にも驚くが、なぜ女子より男子からの相談が多いのか疑問を持った。「男性は比較的そういう学習をするところがない。女の子は生理のことで（学習機会が）あります。でも、男の子は自分の体の変化についてちゃんと学校で教えてもらってないから、本当に自分はこれで大丈夫なのか、こんなになっちゃったけど病気じゃないかとか」誰にも言えないことを匿名で相談できる、同研究会の活動の意義を感じる言葉だった。



定例会の様子

コロナ禍や SNS の普及などで相談時間や相談内容などに変化があるという。「LGBTQ 当事者の方たちの相談も前より目立つ気がします」「相談件数は減ってるんだけど、1 人に対する時間は長くなっているのかな」「アドバイスを欲しいんじゃないかって、聞いて欲しいっていう感じです」

メールや面接での相談も行っているが、電話は常に鳴りっぱなしだという。

ピアサポーターの成長が励みに

思春期健康相談室「ピアーズ ポケット」の相談には「ピアサポーター」と呼ばれる、「青少年ピアカウンセラー養成講座」（主催：静岡県教育委員会）を修了した大学生も参加している。この「ピアサポーター」について、修了生であり現在は同研究会理事の安間さんに聞いた。

「ピアは仲間という意味なんですけど、思春期の相談者に近い年齢の大学生・専門学生が仲間の立場に立って性に関する相談にのる。そのための講座を修了した子たちが、その後ピアカウンセラーとして沼津の思春期健康相談室などで活動していきます」

ピアサポーターは相談だけでなく学校での講座（ピアエデュケーション）も行っている。「劇仕立てのグループワークが中心で、友人同士のコミュニケーションや SNS の使い方など、学校の要望に合わせてテーマを設定します。大人が生徒に教えるのではなく大学生が中学生と一緒に考えていく。中学生・高校生の本音を引き出しながら自分たちで考える活動です」



思春期健康相談室「ピアーズ ポケット」入口

このピアサポーターの活動について、他の理事はどう思っているのだろうか？

「性に関する知識も入れながら、カウンセラーとしての勉強もするって高度だなと思うんですけど。大学生がすごく育っているというのが分かる。素晴らしいなと思っています」

性に関する教育や啓発の需要はますます増えていく。その中でピアサポーターの意欲や成長はベテラン相談員にも良い影響を与え、互いに刺激し合いながら知識の継承やスキルアップにも役立っている。次世代のカウンセラーを養成しながら「リプロダクティブヘルス研究会」の活動は今後も広がっていく。

思春期健康相談室「ピアーズ ポケット」の御案内

- 電話相談 ☎055-952-7530 水曜日 13:00～17:00 / 土・日曜日 10:00～17:00
- 来所相談 沼津駅南口 沼津産業ビル 1 階（沼津市大手町 1 丁目 1-3）（要予約）
- メール相談 shishunki@poem.ocn.ne.jp
- ※相談無料
- WEB サイト <http://peers-pocket.sakura.ne.jp/>

令和5年3月1日からスタート 静岡県パートナーシップ宣誓制度

あざれあ他で
リーフレット
配布中



静岡県では、誰もが理解し合える共生社会の実現を目指し、「ジェンダー平等と性の多様性を認め合う環境づくり」の取組として「静岡県パートナーシップ宣誓制度」を開始します。

※詳細はリーフレットまたは静岡県WEBサイトを御確認ください。

【問合せ】静岡県男女共同参画課
TEL：054-221-3363
メール：danjyo@pref.shizuoka.lg.jp



男女共同参画情報誌「ねっとわあく」 編集員募集



県内の男女共同参画やジェンダーについての記事を作成してみませんか？

【仕事内容】

「ねっとわあく」（年2回発行）の企画立案、編集会議（年10回程度）、取材、原稿の作成・編集、発送

※応募要項・方法、課題作文など詳細はWEBサイト「あざれあナビ」を御確認ください。

【問合せ】NPO 法人あざれあ交流会議
TEL：054-250-8147（平日9～18時）



ふじのくにLGBT電話相談

静岡県内に在住、在勤、在学の方が相談できます。秘密厳守、匿名OK、相談無料です。
性のあり方に関する悩みや困りごとについてお話しください。
※御本人だけでなく、家族、友人、職場や学校の関係者も相談可／専門相談員による相談です。



☎ 0120-279-585 毎月第1火曜日・第3土曜日 18:00～22:00

あざれあ相談

悩んだとき、困ったときは、あざれあへ



女性相談

女性が抱える様々な悩みについて、女性相談員が対応します。

0558-23-7879 賀茂／055-925-7879 東部
054-272-7879 中部／053-456-7879 西部

月・火・木・金 9:00～16:00／水曜日 14:00～20:00
第2土曜日 13:00～18:00

※いずれも、祝日・お盆・年末年始を除く
※混み合う場合がございます。時間をあけておかけ直してください。

※インターネット相談は令和4年度を持ちまして終了となります

DV その他暴力に関する相談
（予約制面接相談）

月・木 10:00～15:00
水曜日 14:00～19:00

※まずは電話相談におかけください。



男性相談

生き方・家族・仕事・健康等の悩みについて、男性相談員が対応します。

専用電話 054-272-7880

毎月第1・3土曜日 13:00～17:00

※つながらない場合は、少し時間をおいてかけ直してください。
※第1・3土曜日がお盆・年末年始の場合、次週の土曜日に実施します。

リプロダクティブ・ヘルス/ライツ 啓発リーフレット

あざれあで配布中



自分の体のことは自分で決めたり、自分を守ったりすることができるよう、若い年代向けにパンフレットを作成しました。



【発行・問合せ】

静岡県くらし・環境部県民生活局
男女共同参画課
TEL: 054-221-2824



情報誌「エポカ」は今号で最終号となります



今後は男女共同参画WEBマガジン「エポカ」および男女共同参画情報誌「ねっとわあく」で情報をお届けします。1994年創刊から29年間の御愛読、誠にありがとうございました。

